

プレスリリース

■件 名 初めての方も古文書が読めるようになる 「読む、古文書 一江戸時代の東村山の生活一」企画展の開催

■リリース日 平成25年4月25日（木）

■概 要

同じ日本語なのに何が書いてあるかわからない「古文書」。今でいえばメールやツイッター同様、当時の人々が書き記した生活感ある文書が、読めて内容がわかると、当時の人たちと「つながった」気持ちになるのではないのでしょうか。

今回の企画展では、「古文書」をはじめて見る人におすすめの展示で、大河ドラマ「八重の桜」と同時代、幕末の東村山のできごとが記された古文書や、昔の学校である寺子屋、当時の旅の資料等も紹介するほか、江戸時代の村絵図などもわかりやすく紹介。

また、はじめて古文書にふれるかたを対象とした入門講座も実施し、講座で使用したテキストは和綴じにして差し上げます。

企画展「読む、古文書 一江戸時代の東村山の生活一」

会 期：開催中～6月30日（日）

場 所：東村山ふるさと歴史館（入場無料）

東村山市諏訪町1-6-3（東村山駅西口徒歩8分）

■担当所管 東村山市教育部ふるさと歴史館